

①病院名	②H29 病床数	③2025年 の病床数	④再検証対象該当理由
独立行政法人 地域医療機能推進機構 東京城東病院（江東区）	130床	124床	A 「診療実績が特に少ない」 （へき地所在は評価外）
⑤公的資金の投入状況 ＜自治体や国からの繰入金、運営費補助、交付税交付金等（経営補助・損失補てんの資金）を記載＞			
投入状況 （記載） 有or無	無	名称 ※有の場合	

### 病院の特色について

#### 1 「得意とする」「重点的に取り組んでいる」主な医療の内容

別紙のとおりです。

#### 2 地域の医療機関との連携の状況（例：高度急性期病院との連携、地域の診療所との連携）

別紙のとおりです

#### 3 その他、病院の特徴的な取組

別紙のとおりです

## 別紙

### 1 「得意とする」「重点的に取り組んでいる」主な医療の内容

予防（健康管理センター）から、急性期病棟、地域包括ケア病棟、介護老人保健施設、居宅介護支援事業所及び地域包括支援センター（江東区から受託）など地域包括ケアに必要な資源を備えており、本年5月から訪問診療を開始したことによりシームレスな医療・介護を提供し、地域における地域包括ケアの一翼を担っている。

診療科は、総合診療科・内科、外科及び整形外科の4科である。

年々高齢者が増加している地域（患者の平均年齢約76歳）であることから、そうした地域特性を踏まえ、以下の取組みを実施している。

- ・総合診療科・内科は、在宅医療を含めた地域の専門医が診ることの少ない複数の疾患を持った高齢者等の医療を担っている。

- ・外科を中心に、鏡視下による高齢者に対して侵襲の少ない手術を年間約60件実施している。

- ・整形外科は、地域では対応している施設が少ない肩関節等の上肢の手術（年間約400件）を中心に手術を行っている。

### 2 地域の医療機関との連携の状況

- ・地域連携室を設置し、近隣の医療機関との連携を行なっている。急性期の疾患を持った患者を中心に開業医から月30件程度（連携していない開業医を含めると100件程度）受入れ、逆紹介を月40件行っている。（連携していない開業医を含めると100件程度）また、入院治療終了後に在宅復帰の難しい患者を中心に、急性期病院において回復期に移行した術後患者を地域包括ケア病棟で受入れており、病状に応じた切れ目のない医療に貢献している。

- ・国立がん研究センター中央病院と契約書を締結して連携しているほか、がん研有明病院、江東病院、都立墨東病院など計17医療機関と連携している。

### 3 その他、病院の特徴的な取組み

- ・江東区からの受託により運営している地域包括支援センターでは、年間5700件を超える区民の相談・ケアマネジメントを行っており、また、年間1000件を超える病院からの訪問看護を行い地域包括ケアに貢献してきた。これに加え、本年5月より、総合診療医による訪問診療を開始し、順次、件数を増加させている。近隣では唯一、有床医療機関による訪問診療を行い、地域の独居の通院が困難な高齢者等を中心に在宅医療の支援を行っており、今後も地域の高齢化に伴い、そのニーズは拡大していく。

- ・一般病床6床を返上し、その後の病床稼働率をみながらさらなる病床数の適正化に取り組む。

- ・病床機能として、既に平成28年に急性期病棟1棟（43床）を地域包括ケア病棟に転換しているが、地域の病床機能の充足状況を踏まえて、遅くとも来年4月までに、さらに急性期病棟1棟（40床程度）を地域包括ケア病棟に転換する予定。